

プラスワンチャレンジ解答と解説

5年 割合とグラフ

あなたは、お店に行き、買い物をしました。お店では、**100円引き**と**10%引き**のどちらか1枚が使えたので、あなたは安くなるほうのチケットを使いました。定価がいくらのどんな品物を買って、どちらのチケットを使ったかを、自分で考えてかきましよう。また、なぜ使ったチケットの方が安くなると思ったのか、下の□にかきましよう。

解答 定価が1000円未満だと**100円引き**のチケットを使った方が安くなり1001円以上だと**10%引き**の方が安くなる。ちょうど1000円の時はずっとどちらを使っても同じ。10%引きの値段は、定価の0.9倍をすればわかる。 $(100-10=90 \quad 90 \div 100=0.9)$ 自分が決めた(定価-100円)と(定価×0.9)を計算して、どちらの方が安くなるのか考えて、使うチケットを選ぶ。(品物と値段を決めたら25点 使うチケットが合っていて25点 説明で50点)

解説 今回は、自分で買う物と値段を決める問題でした。買う物の定価がいくらかによって、どちらのチケットを使ったら安くなるかわ変わります。1000円がその分かれ目でしたね。じょうずにチケットを使って「お得な買い物」ができましたか。割合の考え方は、ふだんの生活の中によく使われています。しっかり勉強して「お得」に過ごしたいですね。採点方法は、品物と定価が決められたら25点、選んだチケットがあっていたら25点です。選んだ理由がかけたら50点、プラス点は「まず、だから、したがって」などの説明をする言葉を使っていたり、図や表などをかいていたたり、式を書いて計算してそれぞれいくらかかかいてあったりした人はプラス点です。プラス点を取るのがうまくなってきたのでは?? 今回の数学者は、日本の^{せきたかかず}関孝和という人です。「さむらい」がいた江戸時代^{えどじだい}という時代に活やくした人です。

